「フェアトレード」って何？

開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「取引のしくみ」のことです。

普段の買い物を通して、モノの向こうにいる人や環境を思いやり、今を生きるあなたも未来の世代も、共に幸せになれる世界をつくる活動です。

フェアトレードタウン

フェアトレードタウンとは、市民や企業、大学・高校などの教育機関、行政などが一体となって**「まちぐるみ」でフェアトレードの輪を広げるしくみ**で、世界中で2000都市以上が認定されています。日本では札幌市のほか、熊本市、名古屋市、逗子市、浜松市、いなべ市、鎌倉市、大府市の8か所が**(一社)日本フェアトレードフォーラム***により認定されています(2026年4月現在)。

札幌市でフェアトレードの取り組みを進めていくことは、地球規模での問題解決や、世界の人々の状況について考えるきっかけとなります。

***(一社)日本フェアトレードフォーラム**

まちぐるみ、地域ぐるみでフェアトレードを推進する「フェアトレードタウン運動」の国内での普及を目指すフェアトレードタウン・ジャパン(FTTJ)という市民団体から生まれました。フェアトレードの理念と実践を普及することによって、経済および社会そのものを公正かつ持続的なものへと変革していくことを目的として、フェアトレードタウン・フェアトレード大学の認定、フェアトレードスクールの登録などの事業を展開しています。

フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議

札幌市でフェアトレードを推進するため、市民や企業、大学などの教育機関、行政が関わり、市民団体として2017年に設立されました。札幌市全体でも、多様な生産者と消費者が対等な関係を築き、公正で持続可能な社会と経済の発展に寄与するまちづくりを目指しています。

1980s 後半	日本ネグロスキャンペーンに賛同したJCNC北海道が、バランゴンバナナを輸入して、「民衆交易」を開始。
1990s	札幌初のフェアトレード品常設店舗「これからや」が開店。マヤコーヒーがグアテマラの先住民と有機栽培コーヒーのフェアトレードを開始。
2002	フェアトレードフェスタinさっぽろ(フェアフェス)がスタート(以降現在まで継続開催中)。
2003	フェアトレード専門店「アースカバー」開店。
2004	フェアトレード専門店「みんたる」開店。
2007	NPO法人ほっかいどうピーストレードが東ティモールコーヒー生産者とのフェアトレード開始。
2008	6月、フェアフェスでフェアトレードタウンを目指すことを宣言。
2009	11月、フェアトレードタウン実現を目指す「フェアトレード北海道」発足。
2010	フェアトレードアクセサリー工房「colors」がインドの生産者、札幌の福祉作業所と連携して、フェアトレードアクセサリーの生産・販売を開始。
2011	北星学園大学経済学部の実習科目で「フェアトレード店舗数調査」を開始。
2017	フェアフェスが大通10丁目で開催され、SDGsの理念「だれ一人取り残さず」をテーマとする。 店舗数調査で認定に必要な196ポイントを達成。 9月、「フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議」が発足。
2018	10月31日の札幌市議会本会議で「フェアトレードの理念支持及び普及啓発に関する決議」が可決。11月28日市長が支持表明。12月、戦略会議が(一社)日本フェアトレードフォーラムに認定申請。
2019	6月1日に札幌市が国内5番目の「フェアトレードタウン」に認定。10月12日、北星学園大学・北星学園大学短期大学部と札幌学院大学が国内2番目の「フェアトレード大学」に認定。
2022	3年に一度の認定更新を経て、フェアトレードタウン3周年を迎え、2大学も認定更新。
2025	市立札幌清田高校グローバルコースがフェアトレードスクールとして登録される。フェアトレードタウン、フェアトレード大学2度目の認定更新を経て、それぞれ6周年を迎える。

札幌市総務局国際部

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目本庁舎10階
TEL 011-211-2032　FAX 011-218-5168
https://www.city.sapporo.jp/kokusai/cooperation/fairtrade.html

監修：フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議
協力：札幌市内のフェアトレード大学・スクールの学生・生徒のみなさん
illustrations:マット和子
design:INO・yamadama*
改訂版発行　2026年6月
SAPP_RO
さっぽろ市
02-A04-26-1111
R8-2-817

さっぽろ フェアトレード パンフレット

Sapporo Fair Trade Pamphlet

生産者の生活を守る
フェアトレードのしくみ

この現状をなくすためには…

フェアトレードのしくみが大切！

フェアトレードのしくみでカカオ豆を売ると

①適正価格の保証
②プレミアムの上乗せ
③代金の前払い
④長期的な取引
⑤児童労働の禁止

等の原則によって、持続可能な人間らしい生活が保障され、プレミアム(奨励金)により、学校・病院・井戸など必要なものをみんなで決めてつくることができます。

＋ プラスのサイクルで、豊かな生活へ…

このようなフェアトレードのしくみにより、子どもたちが学校に行けるようになるなど、途上国の生活の向上につながります。

フェアトレード10の指針

直接生産者と協働するフェアトレード団体は右の10条件を守って下のマークを使います。また、マークを使わずにこれらの条件を守っている団体もあります。

WORLD FAIR TRADE ORGANIZATION

1. 生産者に仕事の機会を提供する。
2. 事業の透明性を保つ。
3. 公正な取引を実践する。
4. 生産者に公正な対価を払う。
5. 児童労働及び強制労働を禁止する。
6. 差別せず、男女平等と結社の自由を守る。
7. 安全で健康的な労働条件を守る。
8. 生産者の能力強化を支援する。
9. フェアトレードを推進する。
10. 環境に配慮する。

WFTO(世界フェアトレード機関)の基準より抜粋

フェアトレードの商品いろいろ

下に挙げたのは、右の国際フェアトレード認証ラベルが付けられる主な品目。これ以外にもフェアトレード産品はたくさんあります。

FAIRTRADE

食品

- コーヒー
- 紅茶
- カカオ(チョコレート)
- はちみつ
- サトウキビ糖(砂糖、アイスクリーム)
- 穀類(キヌア、米)
- 野菜
- オイルシード、油脂果実(大豆、ごま、シアバター、オリーブオイル)
- ワイン
- 加工果物(ジュース、ドライフルーツ)
- 生鮮果物(バナナ等)
- スパイス、ハーブ(コショウ、シナモン等)
- ナッツ

雑貨・その他

- スポーツボール
- 切花、観賞用植物
- コットン
- 化粧品(アルガンオイル等)
- みつろう(クレヨン、キャンドル)
- ゴールド、シルバー

＊商品が購入できる店舗は裏面の二次元コードを参照ください。

フェアトレードは SDGsのメッセンジャー

エス・ディー・ジーズ
SDGs
Sustainable Development Goals
(持続可能な開発目標)**とは**

2015年に国連で定められた、持続可能な地球を目指す17の目標です。2030年に向けて「誰一人取り残さない世界」を実現するため、全ての国や企業、自治体、そして一人ひとりが取り組む目標です。

札幌市は2018年6月に、SDGsの達成に向けて積極的に取り組む都市として、国の「SDGs未来都市」に選定されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

フェアトレードも、貧困や飢餓、生産者の健康や経済成長、そして環境問題の解決など、SDGsの達成につながる取り組みです。わたしたちは毎日の買い物を通して、生産に関わった人の健康や暮らし、それをつくりだした自然環境を守ることができ、SDGsの達成に貢献できます。

フェアトレードは、SDGsの理念をわたしたちに伝え、わたしたちからの「ありがとう」を生産者に届けるメッセンジャーなのです。

札幌市のSDGs達成に向けた取組はホームページで紹介しています。
https://www.city.sapporo.jp/kankyo/sdgs/

大きく育て フェアトレードの樹

学生が描くフェアトレードタウンさっぽろの未来

SDGs
公正
平和
希望
エシカル
多様性
人権
未来
貧困削減
環境
リスペクト
信頼
ウェルビーイング
共感
連帯
つながり

フェアトレードフェスタinさっぽろ

2002 年からフェアトレードに関心を持つ市民が主催し毎年 6 月に開催するフェアトレードのお祭り。フェアトレード、福祉、地産地消にかかわる約 30 店舗·団体が出展。講演、トークセッション、ワークショップ、ライブなども実施！

札幌学院大学 フェアトレードサークル

市立札幌清田高等学校 グローバルコース

北星学園大学 北星フェアトレード

フリースクール 札幌 VO

あつべつフェアトレードまつり

2023 年から市内のフェアトレード大学 2 大学（札幌学院大学、北星学園大学）が共催して 12 月に開催。フェアトレードコーヒー試飲やクイズラリー、ワークショップなど、子どもから大人まで楽しみながらフェアトレードに参加できます。

1980 年代 JCNC 北海道がバランゴンバナナ輸入開始

1991 年 初めてのフェアトレード常設店 これからや 開店

2003 年 フェアトレード専門店 アースカバー 開店

2004 年 フェアトレード専門店 みんたる 開店

2007 年 NPO法人ほっかいどうピースストレードが東ティモールマウベシ珈琲の輸入・販売開始

2019 年 市立札幌大通高校がエシカル甲子園で特別賞受賞

この「フェアトレードの樹」は札幌の学生生徒有志が考案しました。札幌のフェアトレードの取組と、実現を目指すもの・大切にしたいものを表しています。

札幌学院大学 フェアトレードサークル

札幌学院大学フェアトレードサークルは、フェアトレードの周知活動を通じて身近な消費で社会課題を解決する楽しさを伝えることを目的に活動しています。人とのつながりを通して貧困削減や平和の実現を目指しています。主な活動は、コーヒー試飲や学祭への出店、地域のフェアトレード祭りの企画運営、講座講師、商品開発です。

北星学園大学 北星フェアトレード

私たち北星フェアトレードは、「フェアトレードフェスタ in さっぽろ」、星学祭、また、札幌学院大学と共催する「あつべつフェアトレードまつり」や中学・高校での出前授業など、他大学・高校との交流や地域の方々とのつながりを大切にして協力・対話しながら、フェアトレードの理念を広めフェアトレードの輪を広げています！

市立札幌清田高等学校 グローバルコース

市立札幌清田高等学校は 2025 年 1 月に、北海道で初めてフェアトレードスクールに登録されました。清田祭と呼ばれる学校祭では、いくつかの企業と連携し、フェアトレード商品を販売しました。また、グローバルコースで行われる国際協力という授業を通じて、フェアトレードやエシカル消費に関する学びを深めています。

フリースクール 札幌 VO

フリースクール　札幌 VO は 1996 年に設立され、2003 年からベトナムやタイ、ネパール、インドなどの手作り品を応援、販売するスマイルトレード活動をプログラムとして取り入れ、札幌市内の区民センターでフェアトレード産品販売実習を行っています。アジアの生産者と札幌市民を結ぶ水脈として奮闘中！

フェアトレード大学

フェアトレードを推進する活動に取り組んでいる大学を認証するもので、2024年現在世界ではすでに260校以上が認定されています。
日本では、2018年に静岡文化芸術大学が初めて認定され、2019年には国内2番目として、北星学園大学と札幌学院大学が同時に認定されました。その後、青山学院大学（2021年）、千葉商科大学（2023年）、新潟国際情報大学（2024年）、立命館アジア太平洋大学（2025年）、フェリス女学院大学（2025年）と2026年4月現在で8大学がフェアトレード大学として認定されています。

フェアトレードスクール

フェアトレードやフェアトレード産品の普及に積極的に取り組んでいる活動の事例を広く紹介することで、他の学校にも同様の取り組みを広げることを目指しています。以下の3つの活動のうち、１つでもあてはまる学校（高等学校、特別支援学校高等部、高等専門学校、中学校など）は、「フェアトレードスクール」に登録できます。①学校の内外でフェアトレードの普及を図る活動を継続して行っている。②学校内でフェアトレード産品を継続して利用ないし販売している。③フェアトレードについての学習や研究を継続して行っている。2026年4月現在全国で10校、札幌では市立札幌清田高等学校が登録されています。

フェアトレードデジタルマップ

2025年現在、札幌市内の300を超える小売店·飲食店でフェアトレード商品や飲食料品が販売·提供されています。その中には大手スーパーマーケットチェーンや外食チェーン店だけでなく、100近くの個人経営店も含まれています。

あなたの身近にあるフェアトレードを扱っているお店を知るには、この二次元コードからご覧ください。